

本気のサステナビリティ

JTEX

Seminar & panel discussion

我々日本製テキスタイルの海外向け共同営業体のJTEXでは20年程前から中小繊維企業がグループを組んで海外向け営業を共同で行って来ましたが、コロナ禍も影響して、欧米のファッション業界のサステナビリティに対する関心が急激に高まっている事を痛感しています。今、日本の繊維メーカーの皆様が的確にサステナビリティを理解し、行動を起こし、それを可視化する事が将来においても世界市場の中で存続するプレーヤーとしてファッション業界で活躍するパスポートになると確信しています。特に今、こんな事をお考えの社長様、役員様、ご担当様、本気で繊維産業のサステナビリティって何かこのセミナーを機会に一緒に考えませんか？

少し前から、海外の著名ブランドの仕入れ担当者からサステナブルと云う形容詞をよく聞くので、『これには対応しないといけないかな』と思いつつ、オーガニックやリサイクル原料を使った生地を開発したら、良いでしょうと兎も角、取り組んでは来けど、チョット待てよ!? 新疆綿の問題とか出て来たり、どうやら欧米のお客様が指向している事はこう云う事だけでは無さそう。そしたらサステナビリティって何なの!?



ウチの会社も創業100年を超えた、その間に我が社でしか出来ない技術やその特許も取ってるし、先人には感謝やな。せやけど、この頃、サステナビリティと云うのをよく聞き、取引先からも勉強せえと云われる。我が社の伝統と技術を存続させる事がサステナビリティやと思うけど、それでええの!?



2021年6月18日[金] 16:00-17:00

[会場] ZOOM オンライン開催 [参加費用] 無料

Seminar セミナー

- SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)時代に日本のモノ作りはどう対応すべきか?
山内 秀樹(ビジネスコンサルタント)
- 持続可能なテキスタイル・ビジネスへの姿勢と行動 - 創造的な問題解決のための協働に向けて -
大田 康博(徳山大学教授 経営学博士 繊維産業専門)

Panel discussion パネルディスカッション

- 世界のファッション産業におけるサステナブルニーズの高まりと日本の繊維メーカーの対応
パネラー 山内 秀樹、池田 豊 ファシリテーター 大田 康博

講師紹介 Lecturer introduction



ビジネスコンサルタント
山内 秀樹
yamauchi hideki

現在、パルグループホールディングス顧問、ワールド・モードホールディングス顧問のほか、早稲田大学/京都大学大学院非常勤講師なども兼務。
商社に約30年勤務、数々の海外著名ブランドの日本進出を実現。アパレル業界のサステナブル、サプライチェーン、およびブランディングに精通。



徳山大学経済学部教授
大田 康博
Ota yasuhiko

経営学博士(大阪市立大学)。日本の中小企業や産地の将来展望を求め25年にわたり国内外のテキスタイル産業を研究。主著に『繊維産業の盛衰と産地中小企業』日本経済評論社(中小企業研究奨励賞本賞受賞)。2017年からテキスタイル業界で活躍する人々を繋ぎ交流・議論するイベント「テキスタイル産地ネットワーク」を企画・運営。



有限会社 湧元 代表
池田 豊
Ikeda yudata

1985年 伊藤萬株式会社入社
1994年 ニットメーカーのBaltolini 社 イタリア設立
2003年 日本のテキスタイル輸出会社の有限会社湧元を設立
テキスタイル輸出のグループ営業体Jtexの活動を始める。
殆ど全ての欧米ラグジュアリーブランドとの取引口座を持ち、デザイナーからの信頼も厚い。

お申し込み

参加をご希望される方は、QRコードまたはリンクより参加申し込みを行ってください。

<http://bit.do/JTEX>

申し込み専用
QRコード

